

# 6月定例記者会見 会見録

令和3年（2021年）6月2日（水） 11:00～12:00 庁議室

## 質疑応答

### ■新型コロナウイルスのワクチン接種の状況について

#### 記者A

今回新たに集団接種も6月から開始するというので、65歳以上の高齢者の接種完了時期の見込みを伺います。

#### 市長

7月中を目標にこれまで取り組んでいます。接種を希望する方が想定よりも少し多いので、8月にずれ込むこともあるかもしれません。できるだけ早く終えたいと考えています。

#### 記者A

65歳以上の方が8月にずれ込むとありましたが、64歳以下の方々はいつ頃接種券の配布等を始められる予定か伺います。

#### 市長

昨日も官房長官から発言等があり、日々状況が変化していますので、つくば市としては、できるだけ早くと考えています。65歳以上のワクチン接種を希望している方々が終わる目途がつけば、並行してでも始めていく方が望ましいと思います。そして、基礎疾患のある方や介護従事者等には、できるだけ早く接種を行いたいと思います。

#### 記者B

65歳以上の接種完了が8月にずれ込むこともあると認識してよろしいか伺います。

#### 市長

はい、あると思います。

#### 記者B

「64歳以下はできるだけ早く」とおっしゃっていましたが、いつぐらいから基礎疾患ある方の予約を受け付けて、接種をどのぐらいから始めるといった具体的な数字があ

れば伺います。

### **市長**

現在調整しているところですので、できるだけ早く確定して、お知らせができればと考えています。

### **記者B**

市長自身はいつぐらいに接種される予定か伺います。

### **市長**

私個人はまだ決まっていますが、国から指示がない限りは、一般の枠で接種することになると考えています。

### **記者C**

接種希望者が想定よりも増えているとのことでした。具体的に、想定した接種率がどれぐらいあって、それがどれぐらい増えているのか。また先週、大井川知事が8月中に終わる見込みの自治体が6自治体あって、まだ終わらない自治体が6自治体あると発言されていました。県に対する報告としては、最新の状況でつくば市としてどのように報告されているか伺います。

### **市長**

もともとインフルエンザの接種率が大体6割という数字でしたので、それよりは多いだろうということで、約8割弱ぐらいを想定していましたが、他自治体の事例等を見ていると、もう少し増える可能性もあると思っています。予約枠としては、83%までは枠として確保していますが、今後どれぐらい予約が増えるか見極めていきたいと思っています。

### **保健部長**

県に対しては、5月下旬に報告しましたが、その後、県の方から改めて照会等はありませんので、そのままになっています。

### **記者C**

わかりました。県に報告してから、予想よりは後ろ倒しになっているとの認識で良いか伺います。別に前にこだわるわけではありませんが、一応確認しておきたいです。

## 市長

当初の報告時は7月中を目指していくということで想定をしていましたが、少し遅れて8月に食い込んでいくと思います。

## 記者D

「高齢者のワクチン接種を絶対に7月までに終わらせなさい」というプレッシャーは、市長や職員にかけられているか伺います。

## 市長

我々とはとにかく1日でも早く接種を進めようという思いで準備をしています。そういう中で接種を希望する方が増えてきたことは、とても良いことだと思いますので、皆でできるだけ早く、とにかく進めていこうとしています。日々、国からの話も色々情報が更新されていますので、国の方針にはできるだけ沿いながら、対応していきたいと思っています。

## 記者D

「沿いながら」というお話でしたが、正直、困惑しているところはあるか伺います。

## 市長

我々、現場を預かる自治体としては、とにかく現場でできる限りのことをしていくということが常です。困惑というのは特になく、皆で今、一生懸命頑張っていこうと日々取り組みながら、様々な関係機関と調整しているところです。

## 記者C

64歳以下の接種について、現在準備をしているということで、それは全くその通りだと思います。基礎疾患がある方を中心に進めていくとの方針があったと思いますが、スクリーニングの仕方、あるいは職場接種を6月21日から開始すると報道されています。そういった調整や、これまでのファイザー製ワクチン接種の二重予約をどう回避するかなどの検討について伺います。

## 市長

基礎疾患については、医療機関、医師会等も協議しながら、最も適切な形での接種券の送付を行いたいと思っています。二重予約については、つくば市の場合は、キャン

セルをしないと新しい予約ができない仕組みになっていますので、完全な別建てのものができない限りは大丈夫だと思います。

職場接種については、報道は先行していますが、まだ正式な通知は国から来ていないので、もう少し見極めて、調整をしていきたいと思ひますし、できうるものはすべて行っていきたいと思ひます。

#### **記者 J**

質問が重なっていたら大変恐縮ですが、64歳以下の一般の方の接種について、昨日政府の方でも高齢者の接種の見通しがついていれば、条件つきではありますが、今月中にも一般の方、基礎疾患のある方とない方、64歳以下の方は、基本的には接種が受けられるという発言がありました。ただ国が言っていることで、全国津々浦々を見て発言しているわけではないというのはこれまでの状況を見て重々承知しているもので、つくば市として、そういった方々の接種の今後の見込みについて伺ひます。

#### **市長**

先ほどお答えしましたが、基礎疾患のある方、介護従事者等のエッセンシャルワーカーについて進めて行きたいと考えています。

その発言も承知をしていますので、どういうことができるかということを高齢者への接種を実施しながら、できるだけ早くというのが今お答えできるところかと思ひます。

#### **記者 J**

逆に言うと、例えば来月のいつ頃、今年の夏のうちにはといったところは、現時点では見えてきている状況ではないと認識して良いか伺ひます。

#### **市長**

現在調整中です。

### **■東京オリンピック・パラリンピックについて**

#### **記者 E**

つくば市は、スイス代表のホストタウンになっていたと思ひます。他の自治体は、最近の定例会見で、詳細な代表団の来日スケジュールや交流イベントなどを発表している所があるようですが、つくば市の現状はどのようになっているか伺ひます。

### **政策イノベーション部長**

今のところいくつかの競技について、先方と協議しているものがありますが、7月中旬から8月上旬にかけて行われるということで、具体的なスケジュールについてはまだ詰めているところです。

### **記者E**

スケジュールは同じ時期だと思いますが、他の自治体だと具体的に入国する日付や、交流イベント、子供達との交流の日程などかなり詰めている印象があります。これは若干遅れているというか、情報が来ていないという認識で良いか伺います。

### **政策イノベーション部長**

もともと陸上、柔道、体操、フェンシング、トライアスロンの5競技でやることになっているのですが、いくつかの競技については、どうするかを先方でもまだ考えているところがある状況です。もしかすると国によってはある程度競技ごとの方針を固めて、受け入れている自治体には、具体的に来日スケジュールが来ているのかもしれませんが。スイスに関してはまだ、その辺りを各種目で個別に詰めているところです。詳細が明らかになりましたら、またお伝えしたいと考えています。

### **記者G**

詳細なスケジュールは未定ということですが、最低限この競技の人達は来ることが決まっているのであれば教えていただきたいことと、5競技全員が来ることになったら、何人ぐらいの規模で来るのか伺います。

### **オリンピック・パラリンピック推進室長**

選手団の方で、事前キャンプに来ることが確定しているのが、柔道競技及び陸上競技です。トライアスロン競技は、まだ決まっていない状況で、現在調整をしています。中止連絡があった競技では、フェンシングが競技場の日程の都合ということで、取り止めると連絡がありました。

また体操競技についても、もともと補欠の選手1名のみの予定でいたので、そちらも取り止めになりました。

### **記者G**

何人規模の人数が来ることになるか伺います。

## **オリンピック・パラリンピック推進室長**

全体の人数ですが、選手とコーチを含めまして、約70名前後で想定しています。

## **記者G**

交流イベントですが、他の自治体ですと、選手と直接触れ合わないようなことを考えているところがありますが、つくば市の場合はどういう方法で考えているか伺います。

## **オリンピック・パラリンピック推進室長**

コロナ禍の前ですと、2019年に事前キャンプを実施した時には、選手達の食事のお手伝いを小中学生が行いました。また、陸上競技では、公開競技を行いまして、学生記者のような形で新聞を作ったこともあります。

今回、コロナウイルスの関係もあり、「市民の方との直接の触れ合いはお避けください」といった、内閣官房からのマニュアル例が出ています。

今後予定していますが、先日プレスリリースで発表しました学校給食にスイスメニューを取り入れることや、日本郵便にご協力いただいている事業ですが、イベント等があった時に、スイスの選手に「頑張ってください」といった手紙を書き、選手に渡すといったことを予定しています。

## **記者B**

聖火リレーを実施するか伺います。

## **市長**

実施主体は組織委員会であり、市はサポートするという立場ですので、今のところは開催されるという前提で、感染対策等をきちんと行っていくというところです。実施するかしないかについては、こちらではお答えができません。

## **■昨年度発行した高齢者に向けての商品券について**

### **記者C**

市内の商工業者、地域経済の活性化、あるいは高齢者の出かける機会を増やすといった趣旨で、5,000円の商品券を昨年度発行されたと思いますが、担当課に聞くと、「今年度は発行しない」ということでした。聞くところだと、97%ぐらいの消費率なので、地域経済活性化という点では継続してもいいのかなと個人的には思いました。今年実施しないとなれば、別のことに振り分けたのかもしれませんが、その辺りの判断と理由について伺います。

## 市長

経済対策については、経済支援室で様々な計画をしています。そういう中で、どのような事業が最も市民にとってのプラスになり、地域にとってもプラスになるのか。そしてオペレーションとしても実現可能か、さらに財源としても拠出可能かといったようなことを様々精査しているところです。そういった中で、どのような事業をするかというのは検討しており、当座、商品券が入っていないということだと思います。

## 記者C

そうすると、この秋などに経済の動向などを見極めて、発行する余地もまだあるということか伺います。

## 市長

現時点ではその検討の対象からは外れていると思っておりますが、例えば、国からどのような形で、どういった交付金が出るのかということにも影響はされてきますので、様々な形のものを検討しているということです。

## 記者C

交付金の財源が昨年度大きい額だったと思うのですが、生活困窮世帯への支援を手厚くするために、その部分を削るといった政策裁量をされたのか。その辺りを今年度配分されたのか伺います。

## 市長

その時々によって状況も様々違ってきますし、つくばの状況というのも異なると思います。何かを削ったからこれができなくなるというよりは、今、一生懸命職員達が施策を検討して、最も効果が高く、そして必要とされる場所に対して事業を行っていくということで検討しています。常にそういうことが行われていますので、今回何かを増やしたから何かを削ったということとは、少し違うと思います。

## ■高エネ研南側未利用地の利活用のサウンディング調査について

### 記者F

サウンディング調査を5月21日に締め切ったと思いますが、何社くらいから応募があって、どれくらいの面積を購入して、何を作って、いくらで購入するかということをお伺いします。

## 市長

これは明日の高エネ研南側未利用地に関する調査特別委員会でお話をさせていただきますので、それをお待ちいただければと思います。

## ■半導体生産の世界最大手、台湾積体回路製造（TSMC）がつくば市に研究開発拠点を設立することについて

### 記者E

市にどのような影響があるとお考えか。また、設立への期待を市長に伺います。

## 市長

私が申し上げるまでもなく、TSMC抜きに世界の半導体制度は語れない状況になっています。これが日本企業と共同で、最先端の研究の地に、つくばの産業技術総合研究所を選んでいただいたということは、非常にありがたいですし、心から歓迎したいと思います。

つくばの価値を高めることにも繋がっていくと思いますし、長期的にも、今回はパイロットラインですが、製造ライン等になってくれば、経済、雇用にも非常に大きな影響があると思います。つくば市としては、できる限りのサポートを関係機関とより緊密に連携をしながら、取り組んでいきたいと思っています。

## ■クレオ跡地の利用について

### 記者B

クレオの跡地ですが、先日ロピアが開店して、ようやく動き出したところですが、私もお客さんと立ち話をしていて、「スーパーが来るのは良い、中心地にスーパーが来て良かった、しかもロピアという、県内であまり知られてないところで、商品も他のところと違って良い」という期待値がありました。その反面、「やはりマンションはいらないよね」という声が結構あって、「これ以上人口を増やしてどうするのだろう」というような声も結構ありました。

あと多かったのが、「やはり西武に戻ってきて欲しいよね」「百貨店はつくばに必要なよね」という声もありました。

今後、跡地に入るお店を見ると、百円均一ショップや家電量販店で、はっきり言って、個人的に見てもあまり特徴があるような店が入らないような気がしました。

この前、筑波大学新聞の学生さんや記者さんが株式会社日本エスコンの社長に「学生向けにはこういった施設が入りますか」という質問をしていましたが、社長さんは、



「特に学生さんは考えていません」とおっしゃっていました。  
つくば市に何千人単位と居る学生を切るのかと、かなり驚きました。  
市長として、つくば駅前周辺のまちづくりをどのようにしたいのか、お考えを伺います。

## 市長

ビジョンについては、中心市街地まちづくりビジョンに掲げていますので、そこで掲げたビジョンを当然実現していきたいと思えますし、やはり中心市街地というのは街の心臓部ですので、そこから外に人を送り出すような、人、もの、金の流れを作っていくような場所にもしたいと考えています。

その最初の一歩として、今般センタービルを改修していき、そしてエリアマネジメントを行う機能として、まちづくり会社が設立されました。日本エスコンとも様々な話をこれまでもしてきていますが、このまちづくり会社と連携し、人の行き来を作っていくということが重要だと思えます。

今般入った商業施設として、これからケーズデンキ等が入りますので、非常に期待値が高いと私は思います。そこにいる人達が、ただ建物の中にいるだけでなく、センタービルに用事があって来た人が買い物をしていくとか、買い物に来た人がセンタービルで、例えば、市民活動の拠点に提案型活動を探しに窓口寄っていくなど。そういう流れを作っていくということが賑わいであり、そこでまたお金が流れることもありますので、そういった循環を日本エスコンと協議をして、周りの様々なステークホルダーとも協議をしながら、つくば市のまちづくりビジョンを実現していきたいと思えます。

## 記者B

具体的には、駅前にナムチェバザールやロフトが入っていたり、割と特徴的な店はあることはあると思えますが、さらに何かつくばを特徴づけるようなまちづくりのビジョンはあるか伺います。

## 市長

今、つくば市はスーパーシティに申請をしています。その中でも、クレオの北側のエリア70街区に最先端の科学技術等を生かして、イノベーションを生み出していくような拠点にしていきたいということを出しています。そういったことも一つ、つくばの大きな特徴になっていくと思えますし、そこでまた、エリアの新たな価値を高めていくことができると思えます。

## 記者H

今、他の記者から、「クレオ跡にもうマンションはいらない」という声があったとありましたが、確か2、3カ月前の会見で、「マンションの建設規制は、まだ考えとして残っているのか」という質問があった時、市長は、「残っています。議会条例を出す準備はできています。」というようなことを言っていました。それは現時点でも同じか伺います。

## 市長

正確にどういった表現をしたかわかりませんが、当然マンションに関する制限についての考えは残っていますので、現在の状況を答えられる範囲で担当から回答します。

## 記者H

この前トナリエがオープンした時に、エスコンの社長が、あの辺りのお店の考え方として、「neighborhood (近所) ショッピングセンター」ということで、「近隣にお住まいの方が買い物に来てもらえるようなショッピングセンターにしたい」というお店のコンセプトを言っていました。

私も少し思ったのですが、エスコンの社長としては、あの辺りのマンションを中心とした一大住宅ゾーンになることが自分のビジネスとしては好ましいと考えているのではないかと。もし、つくば市がマンション規制をかけるとなると、エスコンとしては「少し違った」と思うのではないかと心配しました。

建設規制の考えは残っていると認識して良いか伺います。

## 市長

はい。取り組みは進めていますし、当然エスコン社もそのことは知っています。

## 記者H

いずれ条例を出したいという認識で良いのでしょうか。マンション規制を言い出してから2年も3年も経っています。まだ出していないとなると、「規制が出る前にどんどん建設してしまえ」というのはビジネスの人間の気持ちかと思えます。放っておくと、どんどんマンション増になってしまうと思いますが、止めたいのかそれとも放っておきたいのか伺います。

## 市長

これまでお答えしている通り、制限をかけていく準備をしています。都市計画の決定、特に私権制限というのは非常に時間がかかるものですので、そのことについて担当から検討状況について説明します。

## 学園地区市街地振興課長

マンション規制は、マンションを規制するということが目的ではありません。駅に近接した区域には商業施設や業務施設、ホテル、市民ホールといったような都市機能が集積しているということが中心市街地としてふさわしいと考えていますので、一部の区域に住宅の制限を現在検討しているところです。

現在はその区域や制限の手法というものを検討しているところです。具体的に条例をとるところではこれまでも発言はしてないと思います。

## 記者H

検討したことも、どのようにするかはまだ決めていないという認識で良いか伺います。

## 学園地区市街地振興課長

実際に制限するとなれば、区域をどうするのか、制限するものはどういったものを制限するのか。その制限手法としては、どの程度の制限にするのかというところが、具体的に必要になってきますので、それを現在検討しているところです。

## 記者H

わかりました。エスコンの社長に、そういった市の姿勢についてこれから聞いてみたいと思います。

何らかの規制をしたい、しかしそのやり方、タイミングについてはまだ決まっていないというまとめ方で良いか伺います。

## 学園地区市街地振興課長

それで結構かと思います。

## 記者I

先日、クレオがリニューアルオープンしまして、キーテナントであるロピアも非常に賑わっているということで、市民として中心市街地が賑わっているのは嬉しく思います。

にもかかわらず、ロピアさんは、現金だけしか使えません。クレジットカード等は一切使えないのですが、こういうことは今時、非常に珍しいなと思います。今のスーパー、もちろんコンビニ、牛丼屋に至っても使える店が増えています。

もちろんカードを使えるようになると、企業から負担金か何かを払うようなことで、ロピアの「他より安い」という戦略などの企業方針にも関わってくると思います。一方でつくば市は、先ほど市長のお話もありましたように、スーパーシティの申請をしたり、電子投票とか様々なロボットの実証実験をして、最先端の科学技術を実際の生活に活かそうというような取り組みをたくさんされていると思います。

その中で、つくば市の表玄関ともいえる、クレオのキーテナントであるロピアで、クレジットカードすら使えないというのは、市長として、率直にどう思われているのか伺います。

## 市長

これは会社の経営方針ですので、私が所感を述べるべきではないと思いますが、市民からもそういう声は届いていますので、そういった声を市としてお伝えするということはできると考えています。

## ■県内に起きている談合事件について

### 記者H

2、3日前に小美玉市の前部長が、市の持っている土地の情報をリークしたということで県警に捕まりました。それから、数カ月前には石岡市の課長が入札情報をリークして捕まりました。その後、龍ヶ崎市の副市長が、やはり入札情報を間接的にワンクッション置いてリークして捕まったということで、市側が持っている本来外には出してはいけない情報を外部にリークし、県警が調べるという案件がここ数カ月続いています。こういった市の幹部職員が、本来出してはいけない情報を外部に出すということについて、つくば市は万が一にもそういうことはないと思いますが、そういった事例を見て、五十嵐市長は今どんな感想を持っているか伺います。

## 市長

これは違法な行為ですので、やってはならないですし、当然つくば市でもきちんとしなくてはならないと思っています。つくば市としてはそういうことは決して起きていないと思っています。

## 終了